

広報あがり



発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,170(+17) 男4,821(+10) 女5,349(+7) 世帯合計3,448(+10) 平成元年5月末日現在 (は前月との比較です)

赤池中学校柔道部



第5回田川地区少年柔道大会優勝!!

後列: 三洲、西尾、鶴岡、原田(副)
前列: 高橋、藤井、小松

「この畳から県大会へ行くんじゃない」と言って練習しています。創部五年目にして初めてつかんだ、「田川地区大会優勝」は中学校の部活動にとって何年か振りの快挙ですが、我々にとっては、それも一つの通過点にすぎません。

憶しく感じられます。やんちゃ盛り期の元氣者ぞろいだった我が部の第一期生も、今や十九歳の青年です。「最初は、そんな練習をしてきた。彼等が柔道を始めなければこの優勝も無かった」と、今でも生徒に語っています。その意志を受けつぎ、今年の生徒は、卒業していった先輩に負けまいと、よりいっそうの情熱と団結力を持ち、

※なお、長野君は両大会に出場しましたが、ケガで入院の為、写真に掲載できませんでした。お詫びします。

部活動だけでなく、学校行事も盛り上げる活躍、ふりです。今では畳も何とか三十枚ほど集めました。練習が終れば又、片付けるといった状態ですので、場所が狭いだけでなく、ケガをしないよう細心の注意を払わねばなりません。そういったことにもめげず、他校の「道場通い」の選手に勝つたことは柔道だけではなく、将来において大きな自信となるでしょう。

町内のみならず、赤池中学校柔道部を見かけたら「ガンバレ」とご声援よろしく願います。

赤池中学校 池田尚



平成元年度中体連春季大会優勝!!

後列: 小椋、菊地、原田(副)
前列: 三洲、高橋、小松、藤井、篠原

7月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

土曜閉庁 7月は8日と22日

6月から毎月第2、第4土曜日は役場庁舎は、閉庁となりました。

ただし、町立病院・老人ホーム・小学校・中学校・町民会館・体育施設等の公共施設は閉庁しません。

人を優してはならない、人を優してはならない

「不可優」「不可被優」
人を優してはならない、また優されてはならない。

この言葉は、部落解放運動の父故松本治一郎氏のことばです。今は、自分の幸せを願うあまり、他人の幸せを願う人が多し。人は皆、幸福を願うものであります。この生きる保障はすべての国民がだれからも、またげられない「基本的人権」です。

部落に生れただけで、こうした願いをふみにじられ、幸福を奪っているのが、「部落差別」です。本町では、これまで部落差別の解消のため、同和問題の正しい認識と理解を全町民に求めて、町民が差別なく相互に人権を尊重する風土を醸成し、定着させることに人は法のもとに、平等でなくてはならない「生きる保障」これを奪ったのが「部落差別」です。

家から町から社会から 啓発強調月間

赤池町同和教 育推進協議会（同推協）は、日頃から同和問題を正しく理解し、認識し、お互いの人権を守る人

よって、部落差別を根本的に解決し、明るく住みよい心豊かなまちづくりにつとめてまいりました。しかし、昨年行われた地区懇談会では、「差別のことはわかりましたが、私は差別をしていません」というように、自分の事だけで、他人のことは知らないといった自己中心的な考え方の人がいることも否定できませんでした。これは、同和対策審議会答申の精神が町民一人ひとりに正しく理解させるべく部落問題に対する啓発の在り方も反省せざるを得ません。



▲昨年の啓発強調月間講演会より

この7月1日、31日は、「同和問題啓発強調月間」として私たちの身の廻りにある女性差別、身体障害者差別、朝鮮人差別など生活の中での差別はむろん、特に「同和問題」は全く誤った考え方、見方、予断（前もって判断する）偏見（偏よった見方）で親から子供へ、子供から孫へと伝えられて今日まで至っているのがいられない差別「部落差別」なのです。

部落差別をなくせ 同和問題

権思想の高揚を 目指し活動をしていますが、特に7月1日から1ヶ月間は同和問題強調月間としてなお一層

- 人権を守る人こそ 強い人 赤池中学校二年 早麻美鈴
- 信じ合い ふれ合い言葉に 差別なし 赤池中学校二年 三浦美紀
- 人権は みんなが持つてる たからもの 赤池中学校三年 水上麻衣子
- 言葉より態度でつくる 人権意識 赤池中学校三年 石津紫峰
- 人権はあなたの勇気で 守られる 赤池中学校三年 野村百里

(3)

- 今日のため 未来のために 差別をなくせ 上野小学校五年 深川明美
- みんな友達 差別をしない 明るい町 市場小学校五年 池田桂子
- 手と手をつなぎ 笑顔で 明るい町（ついで） 市場小学校五年 保坂美雪
- ちょっとした悪口 その一言が 差別の芽 市場小学校五年 波多紗千子
- なくそういじめ みんななかよし 平和な町 市場小学校五年 成定奈緒美
- 見直そう まずは自分の心から 市場小学校五年 増住幸子
- 大切な 人の差別を止める勇気 赤池中学校一年 時千春
- これくらい いたいと思っな 赤池中学校一年 柴田美奈子

同和問題啓発強調月間

◆みんなで参加◆

行事名	日時	実施場所	方法等
街頭啓発パレード	7月1日(土) 出発式 午前11時30分	町内全域 ①上野小学校区 ②市場小学校区	車によるパレード
街頭広報	6月30日 7月15日 7月28日	町内全域 (広報車にて)	
「いのち・愛・人権」ふれあい体操会 (自由にご参加下さい)	7月16日 午前7時00分開会	町民グラウンド (雨天の場合 町民会館)	
講演 (ひとり語り) (自由にご参加下さい)	7月28日(金) 午後7時 受付 午後7時30分開会	場所 同和対策中央研修所 演題 「とんとん橋のはなし」 講師 薄義人	

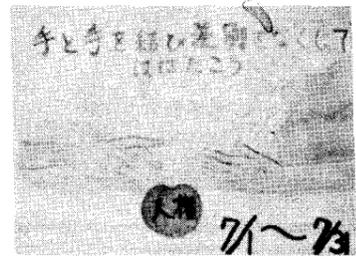
みんなで考え、みんなで作ったポスター・標語

学校では、学習の場や生活を通して、同和教育が実践されています。今年も同和問題啓発強調月に於ける学習の一環として小中学校児童、生徒のポスター・標語を募集し「自ら考え、体を通して人権尊重の精神をより深める」を目ざし、学習

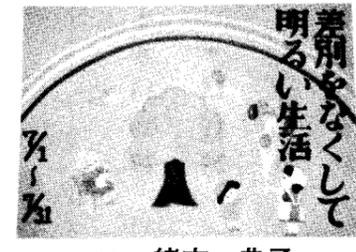
生徒の力作



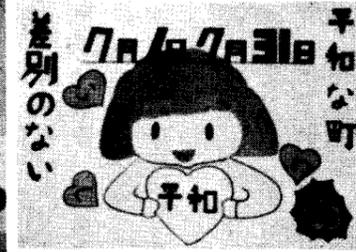
▲市場小6年 高野 勝行



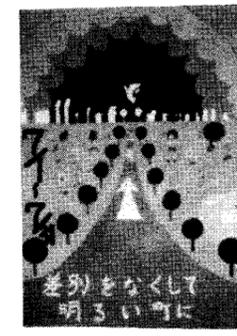
▲市場小6年 柳川 えり



▲赤池中3年 緒方 典子



▲市場小6年 中西めぐみ



▲上野小6年 太田 耕司



▲赤池中3年 今畑 裕美

小・中児童



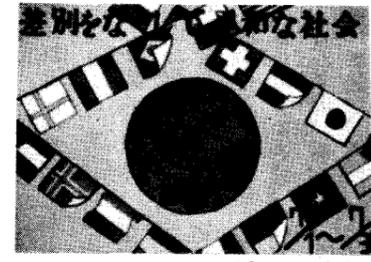
▲上野小6年 窪田 香織



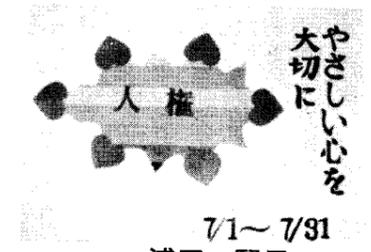
▲赤池中3年 熊谷 順子



▲上野小6年 中野 健太



▲赤池中1年 時 千春



▲赤池中1年 浦田 賢子



▲市場小6年 中村 聡美



▲赤池中1年 安延 恵子

自動車運転者

特別(法令)講習

いまわしい交通事故、この事故を無くしていくには、運転者のマナーアップ、法令遵守などが必要不可欠です。運転者(自動二輪、原付を含む)のみならず、他人に迷惑を掛けない為また自分自身の為に是非この特別(法令)講習に参加して下さい。

▶日時—平成元年8月6日(日)午後6時30分、受付開始、午後7時～9時まで開講

▶場所—同和対策中央研修所

▶受講料—無料

※特典 この講習を受けた日から1年以内に免許の更新をされる方は、免許の更新の時、過去3年以内に、違反歴、事故歴がある方の場合でも法令講習会が免除されます。従って免許証の郵送を依頼すれば、受付後25分位で帰れます。(普通違反歴があれば2時間の法令講習を受けなければならない為、受付後帰るまで2時間30分位かかる)

(注) 当日受講される方は免許証を必ず持参下さい。免許証に依り受講カードを作成します。

田川交通安全協会赤池支部
赤池町交通安全推進協議会
《問い合わせ》総務課企画係
☎28-2004(内線243)

- 自動車等の改造を行っている所
- 暴走行為により、被害や迷惑を受けているなど
- 連絡先◆
田川警察署・交通課
☎42-2120(内線二六五・二七六番)
- 暴走族のたまり場となっている所
- 暴走行為に使用されるおそれのある改造車両、ナンバーのない車の隠し場所

私の後任は、新進気鋭の前田彰先生で、その誠実さは定評ある方です。期待して下さい。また、以前おられた詫摩先生が嘱託医師として診療することになっており、より一層充実した医療を行えると思えます。

町立病院

医師

就任のあいさつ

6月から町立病院が、更にパワーアップしました。今後とも町民のためにと、一段と張りきっておられる先生方を紹介します。

副院長
北 政義



自治医大卒業後、約十年の県の命による派遣義務期間を終え、去る五月末日、県を退職し、六月一日付をもって改めて赤池町に就職致しました。同時に、町立病院副院長を命ぜられました。若輩者ではございますが、町民の皆様の御指導のもと、信頼される、より良い町立病院作りに、誠心誠意取り組みたいと決意致しております。宜しく御願ひ申し上げます。

さて、町立病院の今後の課題と思われるのは、短期的には、増床及びリハビリ部門強化に伴う諸問題、外来待ち時間の短縮化、給食時間の適正化等があり、検討しております。次に、やや長期的な課題ですが、地域保健福祉活動への参入です。つまり、健康教育、健診、人間ドック等の保健予防活動や訪問看護、在宅リハビリ等の福祉活動にも、積極的に取り組まねばならないと考えています。又、昨今感じられるのは、病院に受診される患者さんが、赤池町内の方々に限らず、近隣市町の方

々が、かなり増加してきていることです。このことは、とりも直さず、町立病院が、将来的に、より広域的で、より高次の医療機関に発展していかなければならないのではと考えています。

外科嘱託医師
詫摩 衆三



この度、六月一日より赤池町立病院に外科非常勤嘱託医として一年間勤務させて頂くことになりました。昨年より隣町の方城町立病院に常勤医として勤務している関係で、外科手術の時に日野先生のお手伝いをさせて頂きましたが、今年は正式に嘱託医としての辞令を頂き、新任の外科の前田先生の助手として、町立病院での診療業務に従事することになりました。とは言っても、毎週火曜日の外来診療、病棟回診、手術が中心となりますが、微力ながらみなさまのお役に立ちたいと思っております。

外科医長
前田 彰



六月一日付で赤池町立病院に配属となりました。外科という皆さんは手術ということをお頭に浮か

で、どうぞよろしくお願いいたします。

私は、去る昭和六十年六月より二年間赤池町立病院に勤務しましたが、赴任当時手術室もなく、まず手術室の機械・設備の選定・購入から始めた思い出があります。その手術室で、この四年間に約六百例の手術が行われました。短期間で町立病院は非常に大きな発展をしてきました。少なくとも医療内容・レベルに関しては、周辺の町立病院と比較しても、決して遜色ないレベルに達していると言えらると思えます。今後、外来待ち時間の短縮、ベッド不足の解消、手狭になった外来・病棟施設の拡幅・新築など、一層の医療サービス向上に向けて努力していかねばなりません。

私は、昨年より方城町立病院に勤務し下田川地区の医療に携わつ

べられるかもしれません。確かに手術は我々の大切な手段でありますが、むやみにすべきものでもありません。それ以外の部分があるに多く、またそれゆえに各科の基本診療に習熟していなくては行けないと思えます。日々努力し、皆さんのわずかな訴えにも気軽に相談できる窓口であるように心がけたいと思えます。

できていますが、各々の小さな町で町立病院を営んで行くことの効率の悪さと、各病院間の連携の必要性を痛感しました。一町村内だけでなく、広域的にこの下田川地区で、効率的かつ包括的な医療を実現していくべきだという印象を抱きました。慢性疾患の治療と一次救急を基本に、さらに二次医療の一部と予防衛生活動までカバーできる地域中核病院が必要だと思えます。明るい筑豊地域社会の将来に向けて、今後とも皆様方に広く町立病院が信頼され、下田川の地域中核病院の母体として発展されることを切に願っています。

最後に、昨年来、私を熱心に招聘して下さいた日野町長はじめ議会関係者の方々に厚く感謝致します。

暴走族



近年の高齢化社会の到来、核家族化による老人世帯、独居老人、赤池町は、お年寄りの現況を正確に把握するため、六十五歳以上の方の「生活実態調査」を実施しました。この資料を元に、今後の老人福祉対策を進めていきます。

暑い中、雨の中、各地集会所に集まって頂いた方、また町職員による家庭訪問の聞き取り調査に気軽に応じて頂いて本当に有難うございました。なお、日程の関係で七月にこの調査を行う地区もありますが、ご協力よろしく願ひします。

暴走族は車高を低く改造した乗用車、マフラーを改造した二輪車などで暴走行為を行い、善良な住民を交通事故の巻き添えにする共に、騒音などにより地域の皆さんに大きな迷惑をかけています。福岡県内の組織暴走族は、平成元年の三月末で三十三グループ、六百四十人で、この他およそ二千八百人の未組織暴走族がいると言われています。

「暴走行為をしない、させない、見に行かない」の三不運動を行っていますので皆さんのご理解と、積極的な参加をお願いします。また、暴走族に関して「見たこと」「聞いたこと」があれば、どんなことでも結構ですからお知らせ下さい。

退任しました
ありがとうございました



日野 富夫

町立病院の外科に勤務して、長いようで短かった二年間が過ぎました。前任の詫摩先生から引継ぎ少々荷が重いかなと思いつつも町立病院の外科の診療を守って参りました。当初は、患者さんがどれだけのこの私について来てくれるか不安でしたが、大変多くの患者さんに励まされ勇気づけられたら、大過なくここまで来れました。

この度、人事異動にて町立病院を去ることとなりました。町立病院で手術を受けた患者さんの数もかなり増え、外科も徐々に充実し始めた矢先の転勤で、大変残念で申し訳なく感じております。

最後になりましたが、御世話になりました病院のスタッフの皆様方にはこの場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、赤池町民の皆様方の御健康を心からお祈りいたします。